

① 都市教養学部人文・社会系、人文科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	積極的な取り組みは現在の状況では行っていないが、これから定型的な書式の評価ではなく、それぞれの授業の最後に授業の感想や要望を書いてもらい、それを集約した形で、提言できればと言う意見が出されている。
	研究会・講演会・セミナー等	今年度は特に行っていない。
	外部評価等	特に行っていないが、大学全体の教育における認証評価とFD委員が一緒に関わっているため、評価への取り組みも必要であろうという問題意識をもっている。
今後の予定・展望	FD活動の継続性のある取り組みを行っていく必要性を感じている。とりあえず自由記述的な学生による授業の感想を書いてもらうことを推進し、多くの教員が共有する中から、授業に対する取り組みの改善等を展開して行けたらと考えている。	

② 都市教養学部 法学系 法律学コース・政治学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	前期末に、前期開講の専門教育科目（8科目）について、学生による授業評価アンケートを実施した。 また、現在、後期開講・通年開講の専門教育科目（43科目）を対象とした、学生による授業評価アンケートを実施中である（1月15日現在）。 年度末までに、法学系FD委員会において集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立ててもらおう予定である。
	研究会・講演会・セミナー等	「法学系FD委員会」（「大学院社会科学研究所法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院（社会科学研究所法学政治学専攻）主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成）において、授業評価アンケートの質問項目の選定をはじめ、法学系のFD活動のあり方について議論をした。
	外部評価等	第三者評価機関による大学機関別認証評価に備え、自己点検・評価委員会での議論を踏まえて、「自己評価書」を作成した。
今後の予定・展望	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに4年度にわたって実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らの担当する授業や教育環境の改善に反映させていく。 ○法学系のFD活動のあり方に関する法学系FD委員会における議論をより活発化させる。 ○各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学系全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。 	

③ 社会科学研究科 法学政治学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	各クラスの受講者数が極めて少ないため、学生による授業評価はなじまない。授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、修士論文・博士論文といった成果によって、間接的に評価されるべきものと考えられる。
	研究会・講演会・セミナー等	(全体) 「法学系FD委員会」(「大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院(社会科学研究科法学政治学専攻)主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成)において、社会科学研究科法学政治学専攻のFD活動のあり方についても検討した。 (法律学分野) スタッフ・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に行い、研究・教育水準の向上に努めている。 (政治学分野) ○3月・8月を除く毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上に努めている。 ○上記「政治学総合演習」終了後、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行い、実質的なFD活動を行っている。 ○2007年度から、新たに「政治学FD会議」を設置した。今年度は、前期2回(4月18日(土)、7月18日(土))、後期2回(10月17日(土)、2月6日(土))開催した。政治学FD会議は、政治学分野に所属する全教員・院生で構成される。学期初めの回(4月・10月)では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回(7月・2月)では、学期初めに掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。この取り組みは、過去3年間の実績の検証も踏まえ、来年度も継続していく予定である。
	外部評価等	第三者評価機関による大学機関別認証評価に備え、自己点検・評価委員会での議論を踏まえて、「自己評価書」を作成した。
今後の予定・展望	第三者評価機関による大学機関別認証評価が義務付けられていることに加え、2007年度から大学院FDの実施が求められていることから、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及びFD活動のさらなる充実に向けた検討を、法学系FD委員会を中心に行っていく予定である。	

④ 社会科学研究科 法曹養成専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	2004年度設置以降、各年度とも学期ごとに、法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、すべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制(オフィスアワーなど)、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立っている。また、このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善に役立っている。
	研究会・講演会・セミナー等	①FD会議等の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。さらに、専門領域ごとにFDに関するミーティングを適宜開催している。 ②各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、新司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学評価・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等に参加している。
	外部評価等	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、2004年11月、2005年7月に文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受け、2006年11月に、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた。さらに、2008年度には、法定化されている大学評価・学位授与機構による法科大学院認証評価(第三者評価)を受け、適格の認定を受けた。 なお、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表している。
今後の予定・展望	2008年度の法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、上記のような取り組みを継続する。 しかし、継続的に上記のような取り組みを実施し、法科大学院をよりよいものとするために人的体制を整備する必要があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員、法科大学院認証評価結果等において指摘されているところである。 したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を至急講じなければ、適正な法科大学院の運営はきわめて困難である。	

⑤ 都市教養学部 経営学系		
取り組みの現状	学生による授業評価等	本年度は前期開講科目を対象に「学生による授業評価アンケート」を実施した。ただし、後期開講科目については昨年度アンケートを実施しているため、本年度は新任の教員が担当した科目と新規開講科目を対象を限定した。これらの調査結果に基づいて、教員間で授業改善について議論した。また、昨年度に導入した Web アンケートを利用した。
	研究会・講演会・セミナー等	経営学系では、教員間で意見を交換し合うことで、授業内容等の改善を絶えず行っている。例えば、本年度開設した「基礎数学」は数学を必要とする分野の教員が意見を交換し協力することで実現した専門科目である。1 年次生のほぼ全員が受講した。全学で実施する FD セミナーや講演会に参加し、授業改善のための情報収集を行った。
	外部評価等	特になし。
今後の予定・展望	アンケート調査だけに頼るのではなく、教員間で頻繁に意見を交換し合うことで、授業内容等の改善に取り組んでいく。	

⑥ ビジネススクール		
取り組みの現状	学生による授業評価等	昨年度末に実施した「卒業生アンケート」の分析結果に基づいて、教員間で授業改善について議論した。今年度末もアンケートを実施する予定である。
	研究会・講演会・セミナー等	高度専門職業人養成プログラムでは、教員間で意見を交換し合うことで、授業内容等の改善を絶えず行っている。例えば、来年度から学生の指導体制を従来の指導教員制から教育研究プロジェクト単位制に変更することとし、募集要項についても変更を行った。全学で実施する FD セミナーや講演会に参加し、授業改善のための情報収集を行った。
	外部評価等	文部科学省の重点支援事業「大学院教育改革支援プログラム (GP)」に採択されたことから、平成19年度から本年度まで、重点的な財政支援を受けている。
今後の予定・展望	アンケート調査だけに頼るのではなく、教員間で頻繁に意見を交換し合うことで、授業内容等の改善に取り組んでいく。	

⑦ 都市教養学部・理工学系		
取り組みの現状	学生による授業評価等	従来に引き続いて、理工学系6コースのすべての専門科目の授業評価（SEおよびTE）を実施した。基本的な質問項目は、経年変化を把握するためにこれまでと変えていないが、自由記述では学生が「良い」と感じる授業例をあげてもらおうよう要望する記述を加えた。集計結果は個々の担当教員に示すと同時に理工FD委員会で討議し、課題や授業改善の到達状況を共有化することに努めた。 また、例年どおり、共通基礎科目、専門科目のすべてについて各教員が行う成績評価の基準について話し合い、非常に極端な成績評価をする教員とは、評価基準に対する話し合いをした。
	研究会・講演会・セミナー等	理工系各コースでは、教務、FD担当教員が協力して各コースのカリキュラムや講義内容を検討することが定着しており、授業改善に関する施策を日々行っている。また毎月理工FD委員会を開催し、各コースにおけるFD活動の報告と意見交換を行うと共に、学生アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施など理工系として検討すべき事項について議論をしている。
	外部評価等	理工各系では昨年9月に外部評価を実施した。FD分野においても、各コースおよび理工学系でその資料となるデータを集め、主な特徴や改善点、課題などについて報告した。同時に、来年度に予定されている認証評価に向けて、理工系におけるFD活動の実績や経年変化を整理している。
今後の予定・展望	後期SE・TE結果を実施し、その結果を精査すると同時に、過去4年間の授業評価の変化、現われた問題点などを整理して次年度以降のFD活動へと活かしていく。また、認証評価に向けた準備を進める。	

⑧ 理工学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	理工学研究科では、数理情報科学専攻、物理学専攻、分子物質化学専攻、生命科学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻において個々に授業評価等のアンケート調査を行い、理工学研究科FD委員会でその結果を審議している。大学院生の場合、授業を受講する時間より研究室で研究活動に費やす時間の方が圧倒的に多く、また重要であることを考慮して、学生に対するアンケート調査も研究に対する満足度と研究環境、並びに研究、勉学へのサポート体制への要望収集を主に行っている。
	研究会・講演会・セミナー等	理工学研究科では、各専攻においてカリキュラムや講義内容を検討する会合を持ち、授業改善と研究環境改善に関する施策を日々行っている。また毎月理工学研究科FD委員会を開催し、各専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うと共に、学生アンケートの方法、セミナー実施など理工学研究科として検討すべき事項について議論をしている。なお、今年度は専攻独自のセミナーは行わず、全学のセミナーに講師派遣も含めて協力することとした。
	外部評価等	昨年9月に外部評価を実施した。FD分野においても、各専攻および理工学研究科でその資料となるデータを集め、主な特徴や改善点、課題などについて報告した。そこにおいて前記の院生アンケートは、他大学に比しても進んだ取組みとして高く評価された。さらに、来年度に予定されている認証評価に向けて、理工学研究科におけるFD活動の実績や経年変化を整理している。
今後の予定・展望	大学院FDに関しては、一昨年度から始めた大学院FD活動の実施状況をまとめ、見直すと共に、実施方法のいっそうの改善を図り、次年度以降のFD活動を多様化していくことをめざしている。また、認証評価に向けた準備を進める予定である。	

⑨ 都市環境学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<p>当該年度の前期および後期の各コース専門科目について、学部学生による授業評価アンケートを実施した。対象科目は原則として、非常勤担当科目、実験・演習科目、受講者数が5名程度以下の科目、を除く全科目とした。地理環境では、実験・演習科目についてもコース独自の授業評価アンケートを実施した。</p> <p>アンケートは各科目の担当教員に対しても実施し、アンケート結果および自由記述の内容を各担当教員に配布し授業改善に努めた。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	<p>全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し授業改善のための情報収集を行った。</p>
	外部評価等	<p>特になし</p>
今後の予定・展望	<p>学生による授業評価・教員による授業評価を通して授業改善の取り組みを今後も原則として継続する予定である。</p>	

⑩ 都市環境科学研究科/工学研究科（南大沢）		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<p>当該年度の前期および後期の各コース専門科目について、学部学生による授業評価アンケートを実施した。対象科目は原則として、非常勤担当科目、実験・演習科目、受講者数が5名程度以下の科目、を除く全科目とした。地理環境では、実験・演習科目についてもコース独自の授業評価アンケートを実施した。</p> <p>アンケートは各科目の担当教員に対しても実施し、アンケート結果および自由記述の内容を各担当教員に配布し授業改善に努めた。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	<p>全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し授業改善のための情報収集を行った。</p>
	外部評価等	<p>特になし</p>
今後の予定・展望	<p>学生による授業評価・教員による授業評価を通して授業改善の取り組みを今後も原則として継続する予定である。</p>	

⑪ システムデザイン学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	システムデザイン学部専門科目について、開講された授業（演習、実験科目を除く）の学生による授業評価アンケート調査を実施（前期開講科目：2009年7月に実施、後期開講科目：2010年1月実施）した。アンケート結果を各科目毎にまとめ、各授業担当教員にフィードバックし、授業改善に努めた。また各質問項目毎の集計結果を教授会報告するとともに、学生に対しては、システムデザイン学部・研究科ホームページへの掲載、集計結果概要のリーフレット配布の形で公開した。なお今年度前期までは、日野キャンパスで開講する授業に限って授業評価アンケートを行ってきたが、後期からは対象を広げ、南大沢キャンパスで開講する専門科目についても同様にアンケート調査の対象とした。
	研究会・講演会・セミナー等	2009年10月1日開催の首都大学FDセミナー（単位制度の実質化シリーズ～シラバスを中心に～：於南大沢キャンパス）、2010年2月17日開催の第2回FDセミナー（単位制度の実質化シリーズ「学習指針としてのシラバスと初回授業」：於南大沢キャンパス）のネット中継による日野キャンパス会場開催、参加を試行した。
	外部評価等	大学機関別認証評価の部局分自己評価書に関して、FD関連個所の作成を行った。
今後の予定・展望		今後も学部・研究科合同のFD部会を定期的に行い、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。学生による授業評価について、その実施方法にさらに検討を加え、継続して行う。

⑫ システムデザイン研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	システムデザイン研究科専門科目について、開講された授業（演習、実験科目を除く）の学生による授業評価アンケート調査を実施（前期開講科目：2009年7月に実施、後期開講科目：2010年1月実施）した。アンケート結果を各科目毎にまとめ、各授業担当教員にフィードバックし、授業改善に努めた。また各質問項目毎の集計結果を教授会報告するとともに、学生に対しては、システムデザイン学部・研究科ホームページへの掲載、集計結果概要のリーフレット配布の形で公開した。
	研究会・講演会・セミナー等	2009年10月1日開催の首都大学FDセミナー（単位制度の実質化シリーズ～シラバスを中心に～：於南大沢キャンパス）、2010年2月17日開催の第2回FDセミナー（単位制度の実質化シリーズ「学習指針としてのシラバスと初回授業」：於南大沢キャンパス）のネット中継による日野キャンパス会場開催、参加を試行した。
	外部評価等	大学機関別認証評価の部局分自己評価書に関して、FD関連個所の作成を行った。
今後の予定・展望		今後も学部・研究科合同のFD部会を定期的に行い、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。学生による授業評価について、その実施方法にさらに検討を加え、継続して行う。

⑬ 健康福祉学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	荒川キャンパスFD部会を7回開催した。 健康福祉学部荒川キャンパスで行われている学部授業について、非常勤講師による授業を含め前期・後期の授業評価アンケートを実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	平成22年3月11日(木)学部FDセミナーを実施した。 講演1 英国における新任教員の研修システム 新潟大学教育開発研究センター 准教授 加藤かおり 先生 講演2 英国の専門職間連携教育の意味と意義 健康福祉学部作業療法学科 教授 大嶋伸雄 先生
	外部評価等	実施なし
今後の予定・展望	全学FDセミナーを荒川キャンパス教職員が試聴できる環境作り 先進的なFD活動をしている保健医療系大学への訪問調査 FD関連書籍、報告書の収集	

⑭ 人間健康科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	荒川キャンパスFD部会を7回開催した。 学域によっては大学院生との懇談会やアンケートを実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	平成21年7月11日(土)大学院FDセミナーを実施した。 講演1 保健医療系研究科におけるFDをめぐって 人間健康科学研究科 研究科長 繁田雅弘 先生 講演2 認証評価における大学評価基準と大学院教育の実質化 教務課教育支援・評価係 課長補佐 飯村学 氏 講演3 生命科学専攻における大学院教育改革 理工学研究科生命科学専攻 准教授 岡本龍史 先生
	外部評価等	実施なし
今後の予定・展望	全学FDセミナーを荒川キャンパス教職員が試聴できる環境作り 先進的なFD活動をしている保健医療系大学への訪問調査	

